

フロンとライン

FUKUSHIMA FLON RECOVERY ASSOCIATION BULLETIN

会 報
LINE 07



一般社団法人
福島県フロン回収事業協会

撮影場所：福島空港
2023年10月31日発行
発行：一般社団法人 福島県フロン回収事業協会 〒960-8162 福島市南町449番地

「フロン類の回収率向上に向けて」



福島県水・大気環境課長 清野 弘

日頃から、本県の環境行政への御理解と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

貴協会は、平成12年の創立以来、フロン類回収システムの構築や技術の向上、技術者の育成等を通じて、地球環境の保全や県民生活の向上を支えてられました。

歴代会長をはじめ役員や会員の皆様のたゆみない御努力に対し、深く敬意を表します。

皆様ご存じのとおり、フロン類はオゾン層を破壊するだけでなく、気候変動対策の観点からもその排出抑制が必要です。近年の動向を振り返りますと、令和2年度の法の改正では、機器廃棄時の取組が強化され、令和4年度には簡易点検に代わるものとして、漏えいを常時監視するシステムが導入されたほか、算定漏えい量の算出に使用されるGWP値(地球温暖化係数)が改訂されました。

県では、福島県環境基本計画や福島県2050年カーボンニュートラルロードマップにおいて、令和12年度までに機器廃棄時のフロン類回収率を75%とする目標を掲げております。

しかしながら、ここ数年の機器廃棄時の回収率は40%前後にとどまっており、回収率の向上に向けた取組として、県では、建物解体工事等への立入検査やテレビ・ラジオをはじめとした広報に加えて、令和4年度には貴協会の協力をいただき、事業者向けの説明会を開催しました。

引き続き皆様の御協力を頂きながら、業務用冷凍空調機器の適切な管理について機器の管理者等へ広く周知を図るとともに、機器の廃棄時等に適切にフロン類が回収されていることの確認を行い、フロン類の排出抑制に繋げて参りたいと考えております。

貴協会におかれましては、引き続き一致協力した事業運営の下、フロン類回収技術の向上や知見の継承等により御協力いただきますようお願い申し上げます。

第19回通常総会 を 開催

2023.5.22(日)

ホテル福島グリーンパレス

5月22日(月)、ホテル福島グリーンパレスにおいて、第19回通常総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行してすぐの状況下での開催となりました。

冒頭、色摩啓司代表理事会長のあいさつの後、提出議案の審議に入り、宇野副会長により第1号と第2号議案が、川田副会長により第3号と第4号議案が、第5号議案が事務局から説明され、いずれも原案通り全会一致で可決、承認されました。

第1号議案の令和4年度の事業報告では、「主事業である回収破壊量は約22.08tとなり前年比96.2%との結果となったこと、そしてほぼ前年並みの結果ではあるが、コロナ禍で経済活動が伸び悩む状況の中に於いては満足できる結果」であると報告がありました。

さらに、「広報事業のフロン排出抑制法の周知活動、関係団体及び行政の連携に於いては、福島県主催の「フロンの適正な管理に関する説明会」を受託し12月会津、1月郡山、2月いわきと3地域で開催され、200名以上の参加」を頂けたことは役員はじめ会員皆様のご協力のおかげであるとし、「研修事業の効率的な回収技術の講習会は10月に福島市のポリテクセンターで開催し40名の参加を頂いた」また「3月に行われた先週技術の研修会に於いては、埼玉県のカリエイト様のフロン再生工場を見学し、再生の必要性、重要性を再認識した」と令和4年度の事業が計画通りに進めることができたことが報告されました。

令和5年度の事業計画では、破壊及び再生事業インフラ整備、フロン排出抑制法の周知活動、効率的な回収技術の講習会の開催、関係団体及び行政との連携・会議・説明会の開催等に積極的に取り組むことが決定されました。

なお、福島県水・大気環境課の清野弘課長、(一社)日本フロン回収事業協会の鳥波益男会長、(一社)宮城県フロン回収事業協会の吉田匡志代表理事、当会顧問西山尚利福島県県議会議員に来賓としてご挨拶を頂戴しました。

総会終了後には懇親会が催され、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して久々に会員相互の懇親を深めることが出来ました。

総務広報委員長 阿部吉文



色摩会長挨拶



御来賓の皆様



県水・大気環境課 清野課長様挨拶

御来賓

福島県生活環境部 水・大気環境課 課長	清野 弘 様
日本フロン回収事業協議会 代表理事会長	鳥波 益男 様
(一社)宮城県フロン回収事業協会 代表理事会長	吉田 匡志 様
(一社)福島県冷凍空調設備工業会 理事長	古川 敏博 様
(一社)日本冷凍空調設備工業連合会 事務局長	大沢 勉 様
(株)空調タイムス社 代表取締役	杉本 英樹 様
(株)福島建設工業新聞社 代表取締役	朝倉久仁男 様
福島県議会議員 当会顧問	西山 尚利 様

フロン再生事業説明会

(令和5年)2023.7.6日 13時30分

郡山卸センター 2階中会議室 参加者63名

かねてより、事業委員会でフロンの再生事業について協議と検討を重ね、準備を進めてまいりました。フロン再生事業の取り扱いが本格的に始動することになり、郡山市南東北卸センターにて、フロン再生事業に関する説明会が開催されました。この説明会では、なぜ再生事業が必要なのか、その背景にあるものを会員様へお伝えしてご理解を頂く事を目的としております。冒頭で代表理事の色摩会長が、キガリ改正の批准により、2024年には、2013年（基準年）比でHFCを40%削減することになっており、生産量も輸入量も大きく減少する事が予想されている事と、今後も削減が進むので、今から対策として、再生を進めなければならないと説明し、理解を求めました。続いて再生破壊委員会より、再生処理の注意事項と再生依頼手順の説明、新たに製作した新工程管理表の変更点の解説もあり、内容の濃い説明会となりました。

（再生依頼手順は協会HPに資料を掲載しますので、当日参加できなかった会員様はご覧ください。）

（一社）福島県フロン回収事業協会 <https://fukushima-fron.or.jp/>



●再生可能冷媒と、受入れ基準値

- ①R12.R502.R11.R113.R22.R123.R134a.R410A.R32.R407C.R404A.R245faが受入れ可能です。
- ②再生できるフロンガスは純度99.8%以上のもの、**純度99.8%未満の場合は破壊処理になります。**
- ③再生依頼の受付はガス重量5kg以上となります。

●再生処理の社会的メリット

- ①破壊処理するよりも二酸化炭素の排出量が少ない
- ②処理に要するエネルギーが少ない
- ③処理時に排出される廃棄物が少ない
- ④フロンリサイクルによる機器使用期間の延命

●再生回収に係る注意事項

- ①専用のマニホールド、ボンベの使用（冷媒ごとに）
- ②回収後は 空運転をしエアパージを行って使用する。
- ③ボンベは油抜きをし、真空引きをしたものを使用する。

●フロン再生事業でよくある質問

Q1 回収したフロンガスは自分のもとへ戻ってくるのですか？

A1 再生に回るガスは廃棄物として扱われますので、回収業者又は廃棄者の元へは戻りません。あくまで資源の再生・再利用（再生ガス）する為に行われますので再販されることになります。

Q2 純度99.8%以上とは？

A2 純度99.8%以上のガスとは他のガス種が混入していないと言う事です。少量でも混在すると検知され再生不可となり破壊処理に回されてしまいます。

会員の皆様におかれましても、SDGsの観点からも、フロン再生についての周知説明と再生回収の取り組みをよろしくお願い申し上げます。

事業委員会 熊田 大樹



先進技術研修会の報告

(令和5年)2023.3.9(金)～3.10(金)

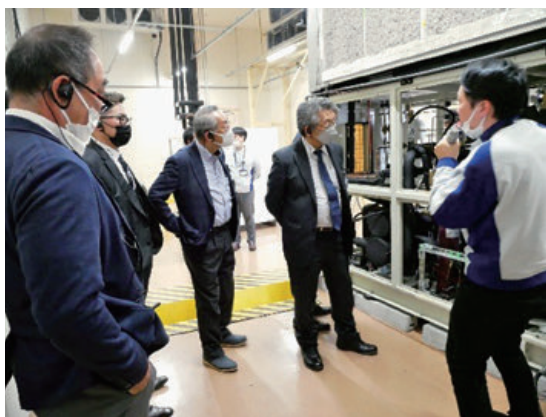
群馬県大泉町 株式会社パナソニック大泉工場
埼玉県久喜市 株式会社クリエイト本社工場

2019年2月に開催して以来4年ぶりの工業会との共催となりましたが、15名の会員にご参加頂きました。初日は福島駅西口をAM7時に出発して郡山のカルチャーパーク駐車場にて会津、いわき、そして郡山会員の皆さんと合流して研修会の旅が始まりました。

午前中に足利にある鑢阿寺、足利学校を見学し昼食の後、大泉町のパナソニック大泉工場のCO₂(炭酸ガス)冷凍機Rackシステムの実験室を見学し、現在の冷媒動向とCO₂冷媒の動向について説明を受けCO₂冷媒の冷凍機も大型モデルの登場で市場も拡大しているとの事でした。

スーパー等の冷凍機は大幅普及が進んでいるとの事でしたが、大型ではまだコストの課題があるとの事で今後に期待だなと感じました。

見学後に質疑応答があり10件近くの質疑があり見学者の高い意識を感じました。見学終了後、宿泊地グランディア羽生へと向かいました。



CO₂冷凍機の説明を受ける



見学を終えて質疑応答

2日目はグランディア羽生を出発して程なく目的地、株式会社クリエイトさんに到着しました。スタッフ皆様にお出迎えを頂き、早速工場の説明とフロン再生についての注意点等のレクチャーを受け2班に分かれての工場見学がスタートしました。

まず運ばれてきたボンベは種類、大きさごとに分類されQRコードを添付し会社名等の情報管理を行うそうです。次回の受入れ時にスムーズに受入れと仕訳ができるように工夫をしておりました。次に冷媒の分析器を見せて頂き、少しでも異種冷媒の混入があると高精度で検知できるとの事。したがって純度99.8%未満の場合はすべて破壊処理になるそうです。

破壊処理から再生再利用へ気運が高まっている理由としてキガリ改正のスケジュールと世界情勢にも大いに関係があり日本では2024年にはHFCを40%削減するスケジュールとなっており削減幅が大きくなります。まだまだ市場にはHFCが大量に流通している事、輸入量も大きく減少する事から再生再利用が必要となってきております。またフロン処理に係る使用エネルギーは再生は破壊処理の1/20、CO₂の排出量は1/6という結果が出ており断然再生処理の方が環境への影響も少ないとの説明でした。我々福島県フロン回収事業協会も本年度より再生事業に取り組む事になっておりますので大変タイムリーな工場見学となりました。

会員各位の皆様には現在のフロンの現況を鑑み、再生事業にご協力頂きますようお願い申し上げます。クリエイトさんの工場見学の報告とさせていただきます。

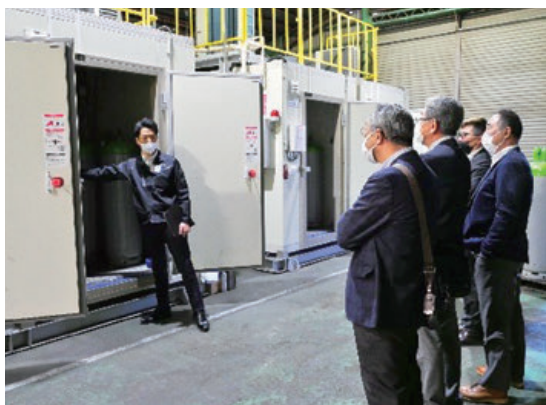
代表理事会長 色摩啓司



株式会社 クリエイトさん正門



フロン蒸留塔の前で



気化式再生装置



帰りに立ち寄った首都圏外郭放水路
地下神殿にて記念撮影

先進技術研修会に参加して

工業会、フロン協会共催の先進技術研修会に県内会員15名で参加しました。パナソニック大泉工場ではCO₂ 2段圧縮機80馬力冷凍デモ機稼働状況を見学させて頂きました。半密閉圧縮機で見た目も騒音レベルもフロン機と変わらない運転状況に驚きました。

担当の方に聞いたところCO₂冷凍機は10馬力、20馬力では国内トップシェアであり今後のフロン規制の状況から大型の機種も揃えていくとの事でした。地球温暖化抑制に世間の目が向けられていく事もあり新しい技術を取入れた設備の提案をしていかなければならないと感じました。

2日目に見学させて頂いたフロン再生工場の(株)クリエイトさんではフロンの純度99.8%までのものを蒸留再生して販売しているそうです。

破壊処理は燃料高騰によりコストが高く3基あった破壊処理機が2基解体されていました。数年前に別工場で見学した際は再生の方がコストが高いと聞いていましたがフロンの規制や制度が変わり今後も柔軟に対応する事が必要と感じました。今回の研修会は3年ぶりとの事で会員同士の交流も活発に行われ充実した研修会でした。

最後に役員の皆様、太陽産業の方々有難うございました。



株式会社福島理工
矢戸昌彦

効率的な回収技術の講習会

(令和4年) 2022.10.15日

福島市 ポリテクセンター福島 イベントホール

●開催目的

フロン排出抑制法が施行されて6年が経過しましたが機器の廃棄時回収率が未だに40%前後にとどまり国の目標値を大幅に下回り低迷していることを鑑み、フロンを取り扱う事業者を対象に業界の垣根を越えて多くの方々に参加を促し、効率の良い回収技術と、最後まで漏らさずボンベに回収する技術を学んで頂く事を目的とする。

講師：アサダ株式会社仙台営業所 所長 中村俊昭 様
主任 上山 航 様



5回目の開催と言う事で協会会員以外の業種、事業者以案内を致しました。電気工事業界、家電販売業界、産廃業界、リサイクル業界、解体業界、会員各位に案内をしたところ40名の参加があり異業種の方々の関心が高い事が分かりました。会長より開始30分で改正フロン法の改正部分についての説明があり、参加者の業界に係る法的責務についての解説また回収を行う際の注意点や回収終了の法的見解等の説明、行程管理表のE票の写しの解釈について説明を行った後にアサダ中村所長、上山主任より対象機器内の冷媒ガスの状態等の説明と回収機並びに周辺機器、その他効率をよくする為の対策や工夫について講習をして頂きました。

●アサダ中村氏、上山氏による講習

- ①システム運転時の冷媒の状態を考える。(飽和液状態かガス状態か)
- ②寝込み冷媒の回収
- ③効率的な回収方法(ボンベ冷却等)
- ④効率が良くなる周辺機器(流体抵抗の除去)
- ⑤フロン回収事例
- ⑥まとめ 機器内の圧力低下を防ぐ対策
回収ボンベ内圧力の上昇を抑える対策



●実機による回収の実演

実機を使って実際の回収作業が行われ、アキュムレータ等に冷媒が寝込み、霜が付着した時の対処法としてヒートガン又はガストーチを使用して着霜部を加熱し冷媒を蒸発させて回収する方法などを実演致しました。また回収終了時には空のボンベを用意して回収機とホース内の冷媒も外部に漏らさず用意した空ボンベに回収できることも説明して講習を終了致しました。



●参加者の感想



福島支部(有)谷川産業
蓬田 峻

今回初めてフロン協会主催の講習会に参加してきました。

冷媒回収の資格を取得して6年経過してます。改正フロン法については弊社代表より資料と説明は受けていたので分かりやすかったです。現場で役に立つ事例としてアサダ様の回収作業時の事例紹介は自分が経験した事例もあり参考になりました。向上に努めてまいりたいと思います。

福島支部(有)谷川産業 蓬田 峻

普段仕事で施工している作業ですが、効率的に回収するにはどのようにすれば良いのか真剣に受講していました。

研修事業委員長 笠 雅樹

「フロンの適正な管理に関する説明会」の報告

福島県主催によるフロンの適正な管理について解説する説明会を(一社)福島県フロン回収事業協会が福島県から業務委託を受ける形で下記の3会場で行われました。

●会津会場 令和4年12月21日(水) ●郡山会場 令和5年1月19日(木)

●いわき会場 令和5年2月9日(木)

内容は「フロン類による地球温暖化への影響」、「フロン排出抑制法の概要」、「機器管理者、解体業者、廃棄物・リサイクル業者の義務について」、「実機を用いたフロン回収の実演」について説明会が行われました。

会津会場50名、郡山会場41名、いわき会場42名の出席があり、フロンの適正な管理について理解を深めていただけました。



受付状況(郡山会場)



主催者挨拶(会津会場)



大沢講師(会津会場)



講習会の様子(郡山会場)



動画上映の様子(郡山会場)



実機を用いた回収実演(会津会場)



講習会の様子(いわき会場)



講習会の様子(郡山会場)



講習会の様子(会津会場)

この度、福島県主催による「フロンの適正な管理に関する説明会」を(一社)福島県フロン回収事業協会が福島県から業務委託を受ける形で実施することができました。

(一社)福島県フロン回収事業協会として初めての試みで、すべてが手探りの中、こうして無事に業務委託を完了出来ました事は、講師を引き受けてくださった大沢さんはじめ、事務局と協会会員の皆様のおかげだと思っております。また、フロン排出抑制法の周知活動は協会の活動目的でもありますので、このような機会を頂けたことを福島県に感謝したいと思います。

総務広報委員長 阿部 吉文

昨年度、(一社)福島県フロン回収事業協会の依頼で、会津、郡山、いわきの3都市で、「フロン排出抑制法」の説明を行いました。

まだ新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、それぞれ、多くの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。また、説明会を開催しました協会の皆さま、お疲れ様でした。

さて、法律の説明会は、法律が成立した時や改正した際には、国や自治体で開催しますが、成立や改正した年のみの開催で、翌年以降は開催しない場合がほとんどです。しかし、ここ福島県は、毎年のように継続して開催しております。特に、「フロン排出抑制法」は、業務用機器を対象としており、企業内で担当者の異動があれば、新たな担当者は、一から勉強しなければなりません。そのような方に対して周知啓発することが、毎年開催することの意義であり、同時に、「フロン問題」はまだまだ終息していないことを広く知らしめることに繋がるものと考えております。

今回、少し残念だったのは、質問がほとんど無かったということです。時間も限られ、私の説明も遂早口になってしまい、きちんと理解していただけたか心配でした。説明会終了後に、個人的にご質問された方が数名おられたのみでしたが、アンケート結果を見ますと、概ねご理解いただいたものと一安心しました。

今回の県内3カ所での説明会は、私個人的には、大雪の後の幻想的な会津の街並み、美味しいお酒、いわきでの美味しいお魚を堪能でき、福島の魅力をつっぴりと感じる事ができた良い機会でありました。

また皆さまとお会いできることを楽しみにしています。

(一社)日本冷凍空調設備工業連合会 事務局長 大沢 勉



第6回親善 ゴルフコンペ開催

福島県冷凍空調設備工業会との共催で第6回親善ゴルフコンペが8月26日 大玉カントリークラブにて参加者16名、4パーティで開催されました。

コロナが5類に分類され、7・8月は全国各地で過去の最高気温を上回る観測史上最も暑い夏となり、当日も天候は晴れ、気温も30℃を超える真夏日となりましたが、ゲリラ豪雨もなく日々の忙しさを心労を忘れて高原の美味しい空気を吸いながら親睦を深め、楽しくプレイすることが出来ました。

「グロスではメーカーだったのにハンデ上限なしの為、優勝して申し訳ない思いです。」

来年の第7回親善ゴルフコンペを楽しみにしております。皆様、奮ってご参加くださいますようお願い致します。

実行委員長 優勝者 柴田和明(談)



▲参加者16名記念撮影



第6回 親善ゴルフコンペ結果

優勝 (有)アライブ 柴田 和明 氏

準優勝 国分金属(株) 国分 宏樹 氏

第3位 作田電機(株) 五十嵐裕二 氏

新入会員のご紹介



福島支部

株式会社 斎 井
代表取締役 齋藤 清正 氏

弊社は主に燃料の小売りや住宅リフォーム・水廻りの工事を行っております。空調機器に欠かせないフロンガスやその正しい取扱いについて勉強するために入会させて頂きました。
どうぞ宜しくお願い致します。



福島支部

株式会社 ティーエス産業
専務取締役 穴戸 智祐 氏

弊社は主に、非鉄金属、プラスチックの買取や産業廃棄物収集運搬を行っております。
適正なフロンの回収を行い、地球温暖化防止に努めてまいりたいと思いますので宜しくお願い致します。



福島支部

コボックス 株式会社
代表取締役 小林 仁一 氏

弊社は空調・衛生等の住環境システムの設計・施工、上下水道の工事に携わっております。
地球温暖化防止の為にフロン法を遵守して社会へ貢献してまいりたいと考えております。
宜しくお願い致します。

福島支部に4社様の入会があり91社になりました。会員の皆様宜しくお願い致します。

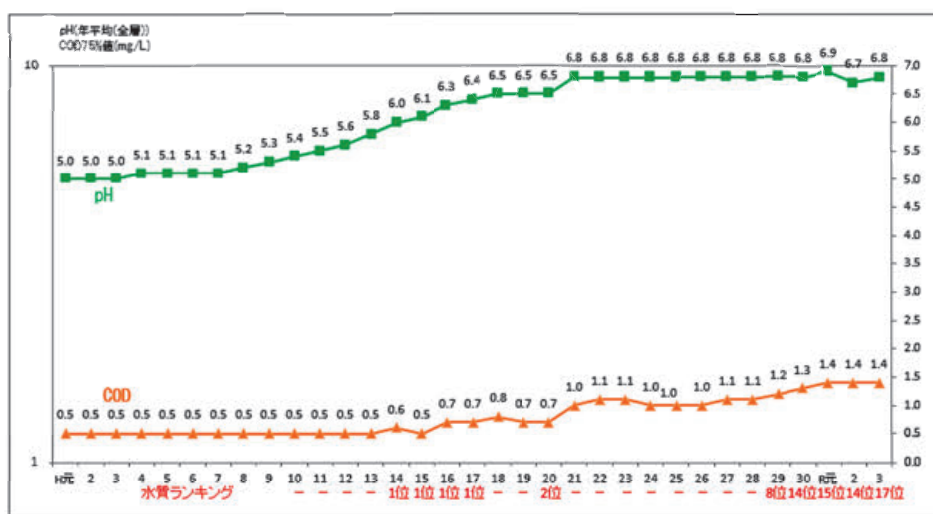
総務広報委員会 柴田 和明

福島県水・大気環境課からのお知らせ

日頃から、本県の環境行政への御理解と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

今回は、福島県が全国に誇る湖、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼の水環境保全活動を支援している湖美来クラブについて御紹介します。

猪苗代湖は、平成14年度から平成17年度まで水質日本一でしたが、湖水の中性化に伴い、水の汚れの程度を示すCODが上昇し、現在17位（令和3年度）です。



水質を改善するため、清掃活動、ヒシ刈り、漂着水草回収及びヨシ刈りなど様々な水環境保全活動が行われています。



清掃活動



漂着水草回収



ヨシ刈り

湖美来クラブでは会員を募集しており、いただいた会費等は、「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金に積み立て、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼の水環境保全活動への支援等に役立てています。

なお、新規会員の方には、「ふくしま湖美来WAONカード」や、「オリジナルグッズ（エコトートバッグ）」及び「オリジナルポストカード」等をプレゼントしています。

また、水環境保全活動のお知らせや会報「湖美来通信」の送付、年に1回特産物プレゼント抽選会も行っています。

詳細はホームページ「湖美来」をご覧ください。 <https://mizu-mirai.jp/>

正 会 員			
福 島 地 区			
福島西地区管理センター	太陽産業㈱福島営業所 内		☎024-557-5131
㈱ 光 和 設 備 工 業 所	〒960-8252 福島市御山字上原2番10		☎024-558-2000
㈱ 東 北 冷 暖 房	〒960-0116 福島市宮代字鳥ノ目25-6		☎024-553-3288
㈱ ナ ガ サ ワ	〒964-0876 二本松市正法寺町90番地1		☎0243-23-0331
㈱ フ タ ワ シ ス テ ム	〒960-8157 福島市蓬萊町八丁目10-31		☎024-549-1640
㈱ シ バ テ ッ ク	〒960-0111 福島市丸子漆方6-1		☎024-554-5322
㈱ 谷 川 産 業	〒960-2156 福島市荒井字愛宕原118		☎024-593-3917
文 化 設 備 工 業 ㈱	〒960-8055 福島市野田町五丁目5番6号		☎024-535-0166
㈱ 相 互 冷 熱 管 理	〒960-8154 福島市伏拝字山ノ入1-3		☎024-545-3120
㈱ 福 島 理 工	〒960-0231 福島市飯坂町平野字桜田17-1		☎024-541-3888
第 一 温 調 工 業 ㈱	〒960-0102 福島市鎌田字卸町15番地1		☎024-553-2100
大栄コールドチェーン㈱	〒960-8153 福島市黒岩字堂ノ後22-1		☎024-546-3370
㈱ 武 蔵 プ ラ ン ト	〒960-8254 福島市南沢又小堰19番地の1		☎024-558-8121
㈱ サ ー モ 電 機 工 業	〒960-8254 福島市南沢又南館115		☎024-557-7860
恵 和 興 業 ㈱	〒960-2156 福島市荒井字北一の坂3-1		☎024-593-1451
テクノエンジニアリング㈱	〒960-8166 福島市仁井田字石塚52-1		☎024-544-1440
㈱ 東 北 テ ク ノ	〒960-8164 福島市八木田字神明67の5		☎024-539-8115
㈱ 東 北 日 立 福 島 営 業 所	〒960-8116 福島市春日町14-33		☎024-535-3291
㈱ ネ オ テ ッ ク	〒969-1512 二本松市上川崎字三ツ石80		☎0243-24-8841
福 島 機 工 ㈱	〒960-8252 福島市御山字稻荷田31-4		☎024-533-9625
㈱ 丹 治 機 械	〒960-1241 福島市松川町金沢字三合内31		☎024-567-6402
㈱ 三 水 機 工	〒960-8066 福島市矢剱町1番36号		☎024-535-0915
㈱ ア ラ イ ブ	〒960-0684 伊達市保原町上保原字久シ原40-1		☎024-574-2888
清 水 冷 熱	〒960-0241 福島市笹谷字三本松29-20		☎024-558-3124
ワ タ ナ ベ テ ク ノ	〒960-1243 福島市松川町水原字上台8-1		☎024-567-6680
草 野 空 調	〒960-8251 福島市北沢又字ヶ2-34		☎024-558-0104
㈱ コ ネ ク ト ワ ン	〒969-1616 伊達郡桑折町字館65-1		☎024-582-6661
㈱ 橋 脇 商 店	〒960-1103 福島市平石字新田85番地の1		☎024-546-1830
安 達 冷 機 ㈱	〒969-1403 二本松市渋川字後座内65		☎0243-53-3817
㈱ フ レ ッ ク ス	〒960-0231 福島市飯坂町平野字乱東後19番地の2		☎024-542-3444
山 川 空 調 サ ー ビ ス	〒960-8166 福島市仁井田字竹ノ花23-2		☎024-573-8741
齋 藤 電 建 工 業 ㈱	〒960-0612 伊達市保原町宮下43番地		☎024-575-3194
豊 富 産 業 ㈱	〒960-0102 福島市鎌田字樋口3番地の2		☎024-553-3714
㈱ プ ラ ン バ ー	〒960-8153 福島市黒岩字八郎内27-1		☎024-573-5397
太陽産業㈱ 福島営業所	〒960-0241 福島市笹谷字出水田8の1		☎024-557-5131
国 分 金 属 ㈱	〒960-8153 福島市黒岩字浅井67番地の1		☎024-544-7133
㈱ フ ル エ コ ノ ス	〒960-8152 福島市鳥谷野字梅ノ木内33-1		☎024-529-6914
㈱ 二 階 堂 電 気 工 事 店	〒969-1404 二本松市油井字葉師堂148		☎0243-22-2110
㈱ 新 成 建 設	〒960-0231 福島市飯坂町平野字道添20-2		☎024-542-7091
㈱ 斎 井	〒960-8162 福島市南町211番地		☎024-546-1134
㈱ テ ィ ー エ ス 産 業	〒969-1771 伊達郡国見町山崎字紫崎1番地3		☎024-572-7644
コ バ ッ ク ス ㈱	〒960-8152 福島市鳥谷野字扇田29-1		☎024-573-0181
高 橋 冷 研	〒960-0111 福島市丸子字中川原10-19		☎024-554-0786
い わ き 地 区			
いわき地区管理センター	㈱いわき低温工業 内		☎0246-52-1250
大 野 冷 凍 工 業 ㈱	〒973-8403 いわき市内郷高坂町大町84-4		☎0246-26-1343
北 関 東 空 調 工 業 ㈱	〒970-8026 いわき市平字柳町3番地		☎0246-25-7111
㈱ 川 田 冷 凍 サ ー ビ ス	〒971-8101 いわき市小名浜字芳浜2番地の13		☎0246-54-2120
㈱ い わ き エ ア コ ン	〒970-0112 いわき市平泉崎字砂田48		☎0246-34-7513
株式会社空調設備サービス	〒972-8334 いわき市渡辺町田部字初田6-10		☎0246-56-2234
㈱ 橋 本 空 調	〒970-8044 いわき市中央台飯野二丁目30-3		☎0246-28-4595
㈱ い わ き 低 温 工 業	〒971-8151 いわき市小名浜岡小名字馬上前7番地1		☎0246-52-1250
㈱ 吉 田 鉄 工 所	〒979-0406 双葉郡広野町大字上浅見川字桜田57-3		☎0240-27-3241
双 葉 設 備 工 業 ㈱	〒979-0402 双葉郡広野町大字上北迫字岩沢31-72		☎0240-27-1253
アイエム冷熱工業㈱	〒972-8334 いわき市渡辺町田部字仲ノ町27番地の1		☎0246-38-6138
㈱ サ ン ケ ン	〒972-0161 いわき市遼野町上遼野字若宮84-35		☎0246-74-1105
郡 山 地 区			
郡山地区管理センター	富士冷熱機器㈱ 内		☎024-946-2200
郡山中央管理センター	㈱力バス 内		☎024-983-8214
大洋テクニカ㈱郡山支店	〒963-0547 郡山市喜久田町卸一丁目40番地1		☎024-959-6277
作 田 電 機 ㈱	〒963-0547 郡山市喜久田町卸1丁目36番地1		☎024-959-6211
㈱オートデンソーマルヤマ	〒963-0111 郡山市南二丁目58番地		☎024-945-5388
共 同 設 備 工 業 ㈱	〒963-0725 郡山市田村町金屋字新家144-1(郡山中央工業団地)		☎024-941-1075
大 成 空 調 工 業 ㈱	〒963-8841 郡山市字山崎408番地10		☎024-923-0371
㈱ 東 邦 シ ス テ ム	〒963-8846 郡山市久留米5丁目178-2		☎024-946-3336
アズビル金門エンジニアリング㈱東北支社	〒963-8876 郡山市麓山二丁目13番11号		☎024-936-4456
㈱エス・ケー・テクニカ	〒963-8041 郡山市喜田町字下亀田1番地の23		☎024-922-1080
㈱ 冷 暖	〒963-0201 郡山市大槻町字北八耕地14番1		☎024-951-4233
富 士 冷 熱 機 器 ㈱	〒963-0117 郡山市安積荒井二丁目261番地		☎024-946-2200
福 菱 冷 熱 ㈱	〒963-8044 郡山市備前館一丁目58番		☎024-923-2548
㈱ エ ア ー テ ッ ク	〒963-0205 郡山市堤3丁目73番地		☎024-952-6526
㈱冷凍技術工業所郡山営業所	〒963-8014 郡山市虎丸町17-19		☎024-932-6128
㈱ 石 井 実 業	〒963-8033 郡山市亀田一丁目55番8号		☎024-934-6660
㈱ 日 設	〒963-0102 郡山市安積町笹川字北向6-2		☎024-946-5388
㈱ 三 森 電 機	〒963-6103 東白川郡棚倉町大字逆川字前山1-27		☎0247-33-0020
㈱ ナ カ ム ラ ア イ デ ィ	〒963-8025 郡山市桑野三丁目105番地2		☎024-933-1056
㈱ 釜 屋	〒962-0001 須賀川市森宿字安積田1-1		☎0248-75-1100
㈱ 丸 三 商 店	〒969-0404 若潮郡鏡石町旭町372		☎0248-62-3047
㈱ 小 針 電 気 工 業 所	〒969-0263 西白河郡矢吹町根宿138		☎0248-43-2224
㈱ カ パ ス	〒963-0205 郡山市堤3-141		☎024-983-8214
東 冷 機 工 業 ㈱	〒963-8846 郡山市久留米6-61-1		☎024-945-5472
㈱ 長 谷 川 環 境 熱 学	〒962-0001 須賀川市森宿字安積田177-27		☎0248-72-7011
㈱ テ ィ ー エ ス 冷 機	〒963-0201 郡山市大槻町字人形垣東72-25		☎024-952-6243
富士エンジニアリング㈱	〒963-0531 郡山市日和田町高倉字高森1-17		☎024-958-5330
回 天 物 産 株 式 会 社	〒963-8061 郡山市富久山町福原字陣場110-1		☎024-942-1121
㈱ あ す な る 電 設	〒961-0102 西白河郡中島村滑津字大池向南8-28		☎0248-43-2288
会 津 地 区			
会津地区管理センター	㈱村山鉄工所 内		☎0242-27-1351
㈱ 村 山 鉄 工 所	〒965-0866 会津若松市新横町1番43号		☎0242-27-1351
会 津 冷 熱 ㈱	〒965-0052 会津若松市町北町大字始字深町91番2号		☎0242-25-1953
星 冷 暖 設 備 工 業 所	〒965-0056 会津若松市金川町6-15		☎0242-24-4195
ハ ッ 橋 設 備 ㈱	〒965-0008 会津若松市桧町2番3号		☎0242-27-3925
㈱ 福 島 空 調 シ ス テ ム	〒965-0102 会津若松市真宮新町北三丁目20番地1		☎0242-93-6263
相 双 地 区			
相双地区管理センター	伊藤冷機工業㈱ 内		☎0244-22-0101
伊 藤 冷 機 工 業 ㈱	〒975-0021 南相馬市原町区金沢字堤上138番地の1		☎0244-22-0101
㈱ 新 妻 空 調 サ ー ビ ス	〒975-0062 南相馬市原町区本陣前2丁目26-7		☎0244-25-0877
㈱ 東 洋 空 調 工 事	〒975-0038 南相馬市原町区日の出町208の1		☎0244-23-5027
㈱ 高 良	〒975-0007 南相馬市原町区南町一丁目93		☎0244-22-7111
電 器 の ス エ	〒975-0014 南相馬市原町区西町1町112-5		☎0244-22-8436
㈱エーアルエーサービス	〒979-2501 相馬市磯部字台畑13番地2		☎0244-33-5700
第 三 種 正 会 員			
㈱ ク レ ハ 環 境	〒974-8232 いわき市錦町四反田30番地		☎0246-63-1231
(一社)福島県空調衛生工業事業協会	〒960-8021 福島市霞町9番23号		☎024-526-2036
日 曹 金 属 化 学 ㈱ 会 津 工 場	〒969-3301 耶麻郡磐梯町大字磐梯1372		☎0242-73-2121
賛 助 会 員			
東 テ ク ㈱ 郡 山 営 業 所	〒963-0107 郡山市安積町三丁目361		☎024-946-7541